

【台湾】

9-10月の市場動向トピックス

- 2020年9月の訪日台湾人数は、前年同月比99.8%減の800人であった。
- 2020年10月の訪日台湾人数は、前年同月比99.7%減の1,300人であった。
- 9・10月も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月17日以降、台湾における日本への渡航警戒レベルが更に引き上げられたこと等に加え、4月3日以降、日本における検疫強化、上陸拒否の対象となったこと等もあり、訪日者数は前年同月を大幅に下回った。なお、国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、9月8日から日台間での「レジデンストラック」の受付を開始し、11月1日に上陸拒否が解除されたものの、14日間の隔離、査証免除措置の停止の対象となっている。

9-10月の主なプロモーション活動

- 10月1日～18日にVJ台湾 Facebook 及び Instagram にて、ビンゴキャンペーンを実施した。3枚のビンゴカードを用意し、「日本で来たことがある場所」をマークし投稿するキャンペーンで、300人以上が参加した。「まだ行ったことがない場所が沢山ある！」「はやく日本に行きたい！」等多くのコメントが寄せられ、ビンゴになった人も約半数あり、高い訪日意欲が感じられた。



(Facebook でのキャンペーン告知)



(ビンゴカードの1例)

- 10月23日～26日に開催された台中国際旅行展示会(ATA)に、VJブースを出展した。ブース内では、全国から募集したパンフレットの配布や自治体等によるステージPRのほか、「安心安全」の取り組みや、アフターコロナを意識したアウトドアアクティビティの魅力を中心にPRした。来場者からは、観光地の詳細情報を求める質問が多く、来年の訪日を期待し沢山の資料を持ち帰る姿が見られる等、コロナ前と変わらない訪日意欲の高さが感じられた。



(ブースの様子)



(ステージPRの様子)